

【総合デザイン学科】

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

筑波技術大学の教育理念に沿って開設された教養教育系科目および専門教育系科目を履修して所定の単位を修得し、幅広く豊かな教養と、以下に示すデザイン学に関する知識と技術を身に付けた者に学位を授与します。

- ①人びとを豊かにするためのデザイン思考
- ②デザインの最適解を導き出そうとする創造性
- ③自らのデザインを的確に伝える発信力

各項目についての認定は以下の内容により評価します。

- ①デザインの基礎知識を身につけ、問題を発見し、解決するための論理的思考を行う。
- ②自ら設定したテーマに対し、オリジナリティのある発想を行い、美しさと新規性を備えたデザインを具現化する。
- ③最適な表現手段を用いて、魅力的にわかりやすくプレゼンテーションを行う。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合デザイン学科では、環境デザイン学領域、製品デザイン学領域、視覚伝達デザイン学領域の3領域編成によって、デザインに対する総合的で幅広い視野を持ち、デザイン学によって社会に参画・貢献できる人材を養成します。ディプロマ・ポリシーにおいて示した3つの知識と技術の修得は、以下の教育課程の編成によって実施します。

①人びとを豊かにするためのデザイン思考を付けるための教育編成

1年次ではデザインの基礎論を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では各領域の専門内容に特化した論・演習を通じて、デザインの発散的思考方法と収束的思考方法を学習します。4年間を通じてデザインの理論・知識を学習します。

②デザインの最適解を導き出そうとする創造性を付けるための教育編成

1年次ではデザインの素養を幅広く身に付けるためにデザイン基礎論・演習を通じて3領域すべてのデザインを体験します。2～4年次ではそれぞれの専門領域に分かれ、テーマに応じた演習科目を複数経験し、美的な感覚を身につけます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。4年間を通じてデザインプロセス、コラボレーション、オリジナリティについて実践的な創造活動を行います。

③自らのデザインを的確に伝える発信力を付けるための教育編成

1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身につけます。4年次ではデザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンター

ションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身につけます。

これらの専門教育における教育編成に加え、キャリア教育として、企業の方を講師とする「デザイン学特別講義」および「デザイン学特別実習」によって、実践的なデザイン学の内容を学習します。

学習成果は、基本的な知識の習得状況に加え、それぞれの課題における思考過程および成果物から思考力・提案力・創造力・表現力・発信力を総合的に評価します。また、少人数教育の強みを活かした双方向のアクティブラーニングによる演習によって、問題解決のための応用力、プレゼンテーション能力、論理的な説明能力の向上に重点をおいた教育を実施します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

総合デザイン学科は、環境デザイン、製品デザイン、視覚伝達デザインに関する分野を学ぶ学科であり、次のような人を求めています。

- ・大学での学習に必要な基礎学力を有している人。
- ・デザイン学に関連した知識・技術に興味を持ち、積極的に学習に取り組む意欲を持っている人。
- ・デザインやクリエイティブ活動を通じて社会に貢献しようという目的意識を持っている人。